


ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

課題番号	19HT0023	分野	農学	キーワード	生態, 昆虫, 菌根菌, 植物
研究機関名	山形大学				
プログラム名	生物の多様性を考える - 土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用 -				
先生(代表者)	安田 弘法(やすだ ひろのり) 理事				
自己紹介	<p>現在、地球上で命名されている生物の種数は約 175 万種です。これらの生物は、南極、砂漠、高山、熱帯などほとんど全ての地域に適応して種を存続させています。私は、この多様性の高い生活様式を持つ生物(昆虫)を材料に、数の決まり方やその法則性の解明にロマンを求めて研究をしています。</p> <p>平成 16 年からインドネシアと本学の総勢 15 名の教員からなる国際共同研究プロジェクトで、熱帯の土壌微生物が地上部生物の多様性創出とその維持機構に及ぼす影響を解明する研究を始めており、その研究の中で得られた成果を皆さんにご紹介します。</p>				
開催日時・募集対象	9月28日(土)	受講対象者	高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	山形大学農学部 3 号館 4 階 401 講義室		(集合時間)	8:30	
開催会場	山形大学 農学部 (鶴岡キャンパス) 住所: 〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23 アクセスマップ: https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/access.html				
内 容					
<p>生物の多様性は、進化および生物圏における生命の維持のため重要ですが、すべての生物(微生物、植物、動物)は、個々に生きているわけではありません。それぞれの生物種は、他の生物種とともに一定の生物圏の中に組み込まれて生存競争のもとで相互依存的に生息しています。</p> <p>そこで本プログラムでは、最初に土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介します。次に、土壌微生物、植物、昆虫を対象としたそれぞれの実習を行います。</p> <p>実習場所は、農学部先端教育研究棟を予定しており、これまでも各種公開講座やセミナーの開催を行っています。2008 年には、ボストン大学名誉教授・下村脩先生のノーベル化学賞受賞で注目された「オワンクラゲ」について「オワンクラゲ GFP 遺伝子の腸菌への導入実験」と題して遺伝子実験教室の開催も行っており、広く県民の皆様にも利用され、好評を得ているスペースを準備しています。</p>					
スケジュール				持ち物	
8:30-9:00 受付(集合場所:鶴岡キャンパス 3 号館 4 階 401 講義室)				筆記用具	
9:00-9:10 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)					
9:10-9:40 講義「生物の多様性を考える」					

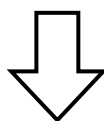
<p align="center">—土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用— (10分休憩)</p> <p>9:50～11:00 実験①「土壌微生物を観察する —菌根菌の役割—」 (10分休憩)</p> <p>11:10～12:20 実験②「植物を分析する —ポリフェノールの役割」</p> <p>12:20～13:20 昼食・休憩</p> <p>13:20～14:20 実験③「昆虫を観察する —植食者と捕食者との関係」</p> <p>14:20～15:00 クッキータイム、受講生の作文発表</p> <p>15:00～15:15 修了式(未来博士号授与、アンケート記入)</p> <p>15:15 終了・解散</p>	
	特記事項

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	山形大学農学部企画広報室 加藤 幸 (かとう みゆき)
住所：	〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23
TEL 番号：	0235-28-2911
FAX 番号：	0235-28-2836
E-mail：	nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
申込締切日：	令和元年9月13日(金)
※当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
安田 弘法	H16-H19	基盤研究A	16255002	熱帯の土壌微生物が植物・植食者・捕食者群集の多様性創出とその維持に及ぼす影響



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。